

林業教室の概要

この研修は、市町林務担当者や林業事業体等の林業に関する知識・経験の浅い方を対象に、森林・林業・木材産業に関する基礎知識講座及び現地研修を通じ、県内の林業情勢の把握と自らの仕事の意義を理解するとともに、今後の業務に役立つ内容になっています。



座学

①森林・林業・木材産業をめぐる最近の情勢について

佐賀県の林業の歴史から、森林の現状と課題そして対応策、木材の利活用などについて学びます。



座学

②基本的な森林施業方法について

林業の世界は専門用語が多いです。木を育てるための作業内容と意味について学びます。



実習

③森林調査方法(標準地調査)について

森林(林木)の価値を知るための基礎として、どのような木がどのくらいの量あるかを調査し、どの位間伐したほうが良いのかを知る必要があります。調査方法の一つとして「標準地調査」を学びます。



座学

④造林事業について

森林を育てていく各施業(植林・下刈り・枝打ち・間伐など)に対して造林事業の補助制度があります。森林所有者の森林整備に対する意欲を後押しする制度です。林業経営の参考として学びます。



現地
研修

⑤主伐再造林について

県内のスギ・ヒノキの人工林の大半は成熟期に達しており、伐採期を迎えています。成長が早く花粉が少なく木材強度が高い新品種「サガンスギ」の苗木生産も始まっていることから、主伐再造林の気運が高まっています。施業地を視察し植え替えの必要性を学びます。

	<p>現地 研修</p>	<p>⑥列状間伐による木材生産について</p> <p>定量間伐の一つに「列状間伐」があります。 森林作業道を効果的に作設し、列状間伐を実施して高性能林業機械を使って木材搬出を実施した施業地を視察します。 間伐における木材生産の効率化を図る方法として導入されている列状間伐について学びます。</p>
	<p>現地 研修</p>	<p>⑦伊万里木材コンビナートの取組について</p> <p>伊万里市山代町の、(株)伊万里木材市場と西九州木材事業協同組合、そして中国木材(株)が一体となって進めている木材の利活用について学びます。</p>
	<p>実習 現地 研修</p>	<p>⑧森林施業技術(下刈)の安全な方法とサガンスギ試験施業地について</p> <p>林木を育てるための重要な作業「下刈」の安全な作業方法について学びます。 また、林業試験場が研究開発した「サガンスギ」を植栽した現場を視察し、期待される新しい施業方法について学びます。</p>